

## 新 除 草 ・ 調 節 剤

ン酸……NOPの形で、雑草の根部および茎葉部から吸収され、NOPとなって雑草体内の正常なホルモンの働きを攪乱し、枯殺あるいは生育を抑制する。また、プレチラクロールは、雑草の幼芽部および幼根部より吸収され、タンパク質の生合成を阻害することによって幼小雑草を枯殺する。本剤は、この2成分の共力作用によって、広範囲の雑草に対して高い殺草力を示し、長期間にわたって安定した除草効果を示す初期一発処理剤である。

**毒性：**ラット（雄）に対する急性経口毒性値（LD<sub>50</sub>）は、ナプロアニリドが15000mg/kg以上、プレチラクロールが3600mg/kgと低く、ともに普通物である。また、コイに対する魚毒性値（TLm 48h）は、ナプロアニリドが3.4ppm、プレチラクロールが2.17ppmでB類である。

**使用方法：**本剤は、田植後3日～ノビエの1.5

葉期までに散布する。ホタルイ・ヘラオモダカ・ミズガヤツリが発生する水田では、それら雑草の発生始期（田植後3～5日頃）に、ウリカワの発生する水田ではウリカワの発生始期～2葉期（田植後5～7日頃）に散布する。本剤は1回の散布で十分な効果を発揮するが、雑草の発生が長期にわたる地域では、必要に応じて体系処理するとより効果的である。

**使用上の注意：**①田面を均平にし、極端な浅植えや浮苗にならないようにする。②通常の湛水状態（水深3～5cm）で均一に散布し、散布後3～4日間は止水にして、落水、かけ流しをしない。③漏水の大きな水田（減水深2cm/日以上）、砂質土壌の水田では使用しない。④漏水の多い水田で、冷水条件が加わると薬害が助長されるので、山間冷水地帯などでは使用しない。

### 植 調 協 会 だ よ り

#### ◎ 第20回評議員会開催す

昭和59年9月26日（水）、植調会館3階会議室において、評議員115名中73名（委任状を含む）出席のもとに開催し、谷口譲氏（八洲化学）が議長に選任され、①昭和60年度評議員会費について、前年通りの算定基準を用いることとして審議の結果、原案通り可決された。②報告事項として、昭和58年度事業および収支決算、剰余金処分、昭和59年度事業計画および収支予算、植調研究所水田用地購入、当協会設立二十周年記念式典開催について報告され終了した。

#### ◎ 会議開催日程のお知らせ

#### 昭和59年度水稲・畑作関係除草剤および普及適用性（展示圃）試験成績地域別検討会

| 地域名   | 部門   | 日 時                                 | 場 所                                                |
|-------|------|-------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 北海道   | 水稲   | 11/13(火) 930～1700<br>14(水) 900～1200 | 〒080 帯広市西3南7 十勝農協連合会館会議室(3F)<br>Tel 0155-24-2131   |
|       | 畑作   | 13(火) 930～1700<br>14(水) 900～1200    |                                                    |
| 東北・北陸 | 水稲   | 11/6(火) 930～1700<br>7(水) 830～1200   | 〒910-41 福井県坂井郡芦原町温泉3丁目「清風荘」会議室 0776-77-2500        |
|       | 畑作普及 | 6(火) 930～1700<br>7(水) 900～1200      |                                                    |
| 関東～東海 | 水稲   | 11/1(木) 930～1700<br>2(金) 900～1200   | 〒509-22 岐阜県益田郡下呂町湯之島801旅館会館会議室 05762-5-2064        |
|       | 畑作普及 | 1(木) 930～1700<br>2(金) 900～1200      |                                                    |
| 近畿～四国 | 水稲   | 11/20(火) 930～1700<br>21(水) 830～1200 | 〒520-02 滋賀県大津市堅田1-21-1「名鉄マリナホテル」会議室 0775-73-1111   |
|       | 畑作普及 | 21(水) 930～1030<br>21(水) 1030～1500   |                                                    |
| 九 州   | 水稲   | 11/27(火) 930～1700<br>28(水) 900～1200 | 〒812 福岡市博多区網場2-2 福岡第1勧業ビル内7F 三鷹ホール会議室 092-291-8366 |
|       | 畑作普及 | 27(火) 930～1700<br>28(水) 900～1200    |                                                    |

# 適期防除で 確かな効果—!

低温でも安心して使え、周辺作物にも安全な

## アビロサン®粒剤

- 1年生雑草及び、ヒルムシロ・ヘラオモダカ・ホタルイ・ミヅガヤツリを経済的に防除。

水田雑草の総合防除に

## ワイダー®粒剤

- ヒエはもとより、ウリカワ・クログワイ・ミヅガヤツリ・オモダカ・ヘラオモダカ・ヒルムシロなど多くの多年生雑草に高い効果。



アビロサン・ワイダー普及会

武田薬品・日本チバガイギー  
石原産業・BASFジャパン

### 編 集 後 記

深山紅葉……今年の秋は急ぎ足で通りすぎつつあるためか、急激な冷えこみで、野山の紅葉はひととき美しく映える。

水稲作は、北海道では有史以来の豊作に恵まれ、全国的にみても作柄が良く、米作農家には久しぶりの笑顔が戻ってきた。また、本州を襲った台風が皆無というのも全くめずらしい年で、果樹栽培農家にとっても台風による落果の被害もなく、豊作に恵まれたうえに降雨量が少なかったために果実の糖度も高く、うまい果実が市場を賑わしている。農業に関連する企業も、農家の財政が豊かになるにつれて好調となり、今年はどうやら福の神が懐にとびこんできたようだ。

しかしながら、日本経済は底が浅いのか、円安傾向が強まり、資源を外国に依存するわが国

の工業に暗い影を投じている。これから冬に向い、石油の消費量が増えるにつれ、その決済に多額の円が流失してゆく。輸入価格があがれば、わが国の経済に及ぼす影響は大きく、インフレを挑発しかねない。やっとの豊作で手に入れた現金も、物価が上がっては何にもならない。何とか円の強化策を打ち出して欲しいものだ。

財団法人 日本植物調節剤研究協会

東京都台東区台東1丁目26番6号

電話 東京(03)832-4188(代)

昭和59年10月発行

植調第18巻第7号 ¥300(送料170)

編集人 日本植物調節剤研究協会専務理事 吉沢長人

発行人 植調編集印刷事務所 広田伸七

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会  
発行所 植調編集印刷事務所

電話 東京(03)833-1821番(代)